

## 県立中央病院建築工事における杭工事データの流用について

### 1. 概要

県が独自に実施した調査において、県立中央病院建築工事でジャパンパイル(株)が施工した杭工事の報告書にデータ流用が疑われるものがあり、同社に照会した結果、11月18日に同社より、当該報告書における全254本のデータのうち、22本について、他の杭のデータを流用したと報告があった。

### 2. 施設の安全性について

県で次のとおり施工状況を確認し、基礎杭については、設計どおりに施工され、施設の安全性に問題はないと考えている。

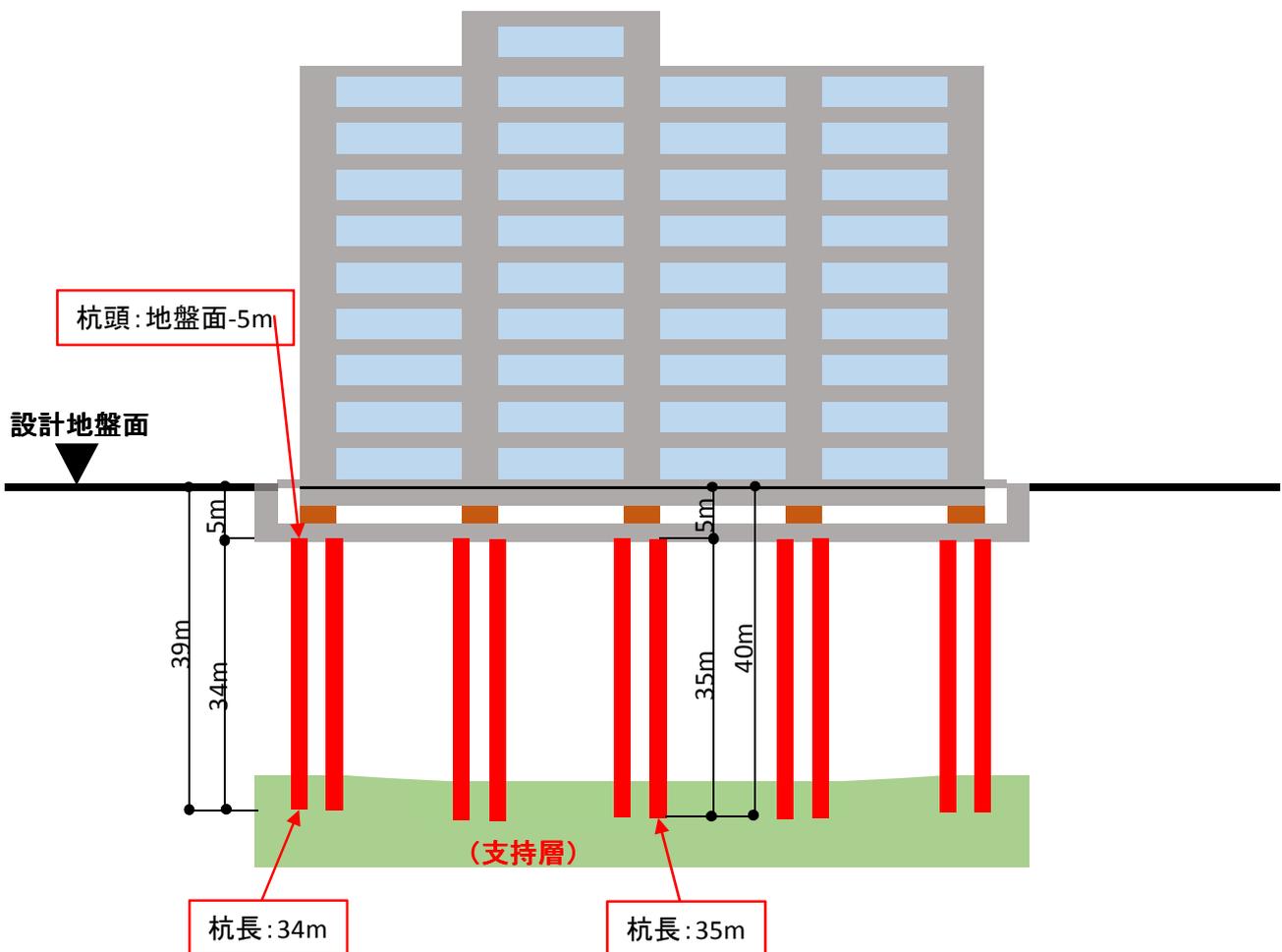
- ①事前の地質調査から、建設地の支持層は堆積層であり、設計地盤面から約-39mで、起伏がないほぼ水平なものであることを確認している。
- ②コンクリート既製杭の長さは、全て納品時に計測して設計どおりであったことを確認している。
- ③打設後の杭頭高さの測量結果により、全ての杭頭は設計どおりの高さに設置されたことを確認している。
- ④県が施工管理を委託していた業者は、杭施工時において掘削機の電流計及びモーター音により支持層への到達をチェックしていたことを確認している。
- ⑤11月12日の現地調査において、目視で建物のひび割れや不同沈下などの不具合はないことを確認するとともに、同17日の測量調査により、建物の傾き等の無いことを確認している。

3. 11月19日以降、患者や来院者に対し、文書の掲示やホームページの掲載で安全性の周知を行っている。

### 【工事の概要】

- ・工事名：徳島県立中央病院改築工事のうち建築工事
- ・請負業者：前田建設工業(株)・鳳建設(株)・(株)森川建設・大徳建設(株)  
徳島県立中央病院改築工事のうち建築工事共同企業体  
※ジャパンパイル(株)は、杭施工の二次下請業者
- ・工期：平成21年7月31日～平成24年6月20日
- ・建物概要：鉄筋コンクリート造10階建て 延べ床面積36,667㎡

## 県立中央病院 杭工事概要



### 杭工事の概要

- ・ 事前に固い地盤の深さまで穴を掘り、既製コンクリート杭を埋め込む工法
- ・ 杭本数 254本, 杭径 約1m
- ・ 杭長 34m及び35m
- ・ 地盤面から約39mの支持層に埋設する設計